



令和8年度・上部団体主催大会京都府代表選手選出方法について

一般社団法人京都府ボウリング連盟

- ※ JB主催大会に出場する者は、申込締切（大会開催日1ヶ月前）前月末までに公認ゲームを月10ゲーム以上消化していること。JPBAプロボウラーは免除する。
- ※ 予選を兼ねる競技会に参加する場合は、競技会参加申込時点で、予選参加を明記する必要がある。（競技会当日の予選参加申込不可）
- ※ 予選を兼ねる競技会において、当日予選参加を辞退する場合は、辞退届を提出すること。
- ※ すべての競技会にシード〈予選免除〉を行う場合がある。

上部団体主催大会の予選通過後の辞退等について

○上部団体主催大会の予選会について

- ・原則として、上部団体から割り当てが発表され、その時点で予選通過した選手が辞退した場合、翌年度当該大会の予選参加不可とする。
（注：予選通過選手発表までに辞退した場合も、翌年度予選参加不可となる）
- ・ただし、追加割当てで通過した選手が辞退した場合は、翌年度同大会への参加を認める。
- ・また、参加回数が限られている次の大会については、翌年度同大会への参加を認める。
関西新人、全日本新人、関西ジュニア、全国小学生、全国中学、全国高校
注）国民スポーツ大会については、本連盟単独での選出ではないため、この規定を適用しない。

○チーム戦がある大会について

- ・原則、チーム単位で参加するものとする。（端数では参加しない）
- ・ただし、個人戦または個人決勝戦がある大会で、次の(1)または(2)に該当する場合は端数での参加を認める。
 - (1) 1チームが成立しない場合
 - (2) 参加エントリーを済ませた選手が参加できなくなり、かつ、交代する選手がいない場合
- ・参加エントリー後に、チームメンバーに欠員が生じた場合、次の手順により1名に限り選手の変更を認める。
 - (1) あらかじめ補欠登録している選手に変更する。
この場合のみ、辞退した選手も翌年度同大会への参加を認める。
 - (2) 補欠登録をしていない場合は、個人で予選に参加して不通過の選手の上位から選出し変更する。
 - (3) (2)までに該当する選手がいない場合は、各チームで交代する選手を依頼する。
 - (4) 上記までで交代する選手を設定できないとき
 - ・個人戦または個人決勝戦がある場合は端数での参加を認める。
 - ・個人戦または個人決勝戦がない場合は不参加とする。
 - (5) 日本クラブ対抗、関西クラブ対抗については、上記に関わらず1名の選手変更を認め、不参加となった選手も翌年度同大会への参加可能とする。

日本選手権

消化ゲームについて

次の(1)シード<予選免除>・(2)予選会ともに当該年度4月から9月末までにJ B公認ゲームを50ゲーム以上消化しており、且つ11月末までに80ゲーム以上消化することが可能な者。

(1) シード<予選免除>

次のいずれかに該当する選手をシード<予選免除>する。ただし、競技会については前年度10月から当該年度9月までを対象とする。

- ※ 当該年度ナショナルチーム・ユースナショナルチームメンバー
- ※ (前年度) 全日本選手権大会 選手権者
- ※ Japan Bowling Classic (旧=全日本選抜選手権) 選手権者 (2026年度は該当なし)
- ※ 全国都道府県対抗選手権 選手権者
- ※ 西日本選手権 選手権者
- ※ J P B Aプロボウラーで、当該年シードプロ (男子24位以内・女子18位以内)

(2) 予選会 6G×2回を実施

注) 予選会当日に、J B主催の強化合宿等に参加する選手を競技委員会で特別推薦し、予選会参加を免除することがある。ただし、シード扱いではない。

予選通過選手が、代表選手を辞退した場合は、次年度予選参加不可
(次年度にシード基準を満たした場合も本大会への出場はできません)

Japan Bowling Classic (旧=全日本選抜選手権大会)

- ① 大会参加資格者
- ② 連盟推薦選手 京都府選抜選手権大会優勝者 (6位入賞者まで繰下げ)
欠員の場合は、
第1次及び第3次個人リーグ通算アベレージ上位者 (繰下げなし)

国民スポーツ大会 (成年・少年)

選考会 (予選) を実施

- 1次選考会 当該年度J B会員であり、京都府から出場できる者
- 2次選考会 京都府から出場できる者であり、下記①～③のいずれかに該当する者は2次選考会から参加できる。
 - ①当該年度全日本ナショナル (ユース) チームメンバー
 - ②前年度国民スポーツ大会京都府代表選手 (近畿ブロック含む)
 - ※ 前年度少年の部代表選手で、当該年度から成年になる選手は、成年代表選手として扱う
 - ③J P B Aプロボウラー

日本スポーツマスターズ

京都府マスターズ選手権大会及び関西スポーツマスターズを予選とする。
(詳細は要項参照)

- | | |
|--------------|--------|
| 日本実業団産業別選手権 | 予選会を実施 |
| 日本実業団選手権 | 予選会を実施 |
| 日本実業団都市対抗選手権 | 予選会を実施 |

いずれも前年度優勝チームはシード<予選免除>とし、メンバー変更可

Japan Ladies Tournament with MEN

京都府レディス&ミックスダブルスオープン競技大会（11月開催）を予選とする

Japan Rookies Cup（旧＝全日本新人選手権大会）

京都府新人競技大会を予選とする（成年入会后3年以内・少年通算3回まで）

Japan Generations Classic（旧＝全日本年齢別選手権大会）

- ① 前年度優勝者（当該部門のみ）をシード＜予選免除＞
- ② 京都府年齢別選手権大会を予選とする

全国大学個人選手権

- ① 前年度優勝者をシード＜予選免除＞
- ② 京都府年齢別オープン競技大会（7月開催）を予選とする

全国高等学校対抗選手権

- ① 前年度優勝校はシード＜予選免除＞とし、メンバー変更可
- ② 京都府高等学校選手権大会を予選とする

日本シニア選手権

- ① 前年度優勝者（マスタースシニア部門のみ）をシード＜予選免除＞
- ② 京都府シニア選手権大会を予選とする（予選のみ対象）

日本クラブ対抗選手権

- ① 前年度優勝チームはシード＜予選免除＞とし、メンバー変更可
- ② 京都府クラブ対抗選手権大会を予選とする

全国中学・高校選手権、全国小学生競技会

- ① 次に該当する選手をシードする＜予選免除＞
 - ・前年度当該大会優勝者
 - ・当該年度全日本ユースナショナルチームメンバー
 - ・当該年度JPBAプロボウラー
- ② 京都府ジュニア選手権大会を予選とする

全国都道府県対抗選手権 京都府ミックスダブルス競技大会を予選とする

西日本選手権 京都府ダブルスオープン競技大会（4月開催）を予選とする

西日本シニア選手権

- ① 前年度優勝者（当該部門のみ）をシード＜予選免除＞
- ② 京都府シニアオープン競技大会（6月開催）を予選とする

関西選抜選手権大会

- ① 大会参加資格者
- ② 連盟推薦選手（男女各3名）
 1. KYOTOイヤリーチャンピオン優勝者（6位まで繰下げ）
 2. 第1次及び第3次個人リーグ 通算アベレージ上位者（男女各1名）
 3. ジュニアチャンピオン決定戦（11月開催）上位者（男女各1名）

関西選手権大会

- ① ジュニアチャンピオン決定戦（7月開催）上位から男女1チーム
- ② 京都府ダブルスオープン競技大会（8月開催）を予選とする

関西スポーツマスターズ 京都府マスターズ選手権大会を予選とする

関西シニア選手権大会 京都府シニアオープン競技大会（10月開催）を予選とする

関西ミドル選手権大会 京都府ミドル選手権大会を予選とする

関西実業団選手権大会

- ① 前年度優勝チームはシード<予選免除>とし、メンバー変更可
- ② 予選会を実施

関西クラブ対抗競技大会

- ① 前年度優勝チームはシード<予選免除>とし、メンバー変更可
- ② 京都府3人チーム競技大会を予選とする

関西年齢別選手権大会

- ① 前年度優勝者（当該部門のみ）をシード<予選免除>
- ② 第1次個人リーグ通算アベレージ上位2名
各年代（2名×7部門：14名）（繰下げあり）
- ③ 京都府年齢別選手権大会を予選とする

関西ダブルス競技大会

- ① 前年度優勝チームをシード<予選免除>（同一部門のみ・メンバー変更不可）
- ② 第2次ダブルスリーグの1～3位
（部門は問わない。同じチーム内の2名とし、1回以上投球した選手とする）
- ③ 京都府2人チーム競技大会を予選とする（予選のみ対象）

関西ジュニア選手権大会 京都府ジュニア選手権大会を予選とする。

関西新人競技大会 京都府新人競技大会を予選とする
（成年入会后5年以内・少年制限なし）

ジュニア・ジャパン強化選手の連盟推薦基準について

自己推薦とする。

但し、当該年度の京都府ジュニア選手権大会に参加し、全国中学・高校選手権の京都府代表選手に選出され、下記①・②・③のいずれかに該当するものとする。

- ① 過去ジュニアジャパン認定会に参加した選手
- ② JB主催大会（小学生大会を除く）で入賞した選手
- ③ 京都府ジュニア選手権大会上位（男子5名・女子5名、但し上記①・②の選手を含まない）

連盟の推薦基準をクリアした選手は速やかに推薦書を連盟に提出すること。

その後 JB の書類選考により ジュニア・ジャパン強化選手認定会（例年8月） への参加者が決定される。

ジュニア・ジャパン強化選手認定会で、選抜認定された場合、

ジュニア・ジャパン選抜強化合宿（例年10月） に参加することができる。